

しゆめ

東雲会会報 第13号

松江東高等学校東雲会事務局
2015年3月1日付発行

題 字 19期卒業生 加藤 愛



東雲会会長
津森 仁

「東雲会とは… ～創立30周年事業を終えて～」

東雲会会員の皆さま、ご無沙汰しておりますがいかがお過ごしでしょうか。

母校東高は、平成25年に創立30周年を迎え、会員各位をはじめとする多くの方のご協力をいただきながら、同年10月の池上彰氏の記念講演及び式典、視聴覚機器の更新、グランド照明の設置、記念誌の作成等、実施することができました。

島根県においても少子化が進み、東高の入学者数も減りつつあるという厳しい現実がある一方、約9千名の卒業生が各方面で活躍するなど、地域に根付いた高校として受け入れられているものと思っています。

さて、この度、数年ぶりに会報を発行することとなりました。周年事業に際し、皆さまの寄付とは別に、東雲会の予算からも事業費を捻出するために、特に発送経費がかさむ会報の発行を行わなかったというのが理由です。

そのような中、式典後の役員会において、今後東雲会がどうあるべきか意見交換を行ったところ、同窓会は周年行事のためにあるのではなく卒業生同士がつながるためのものである、との基本姿勢に立ち返るべきであり、まずは会報を再度発行することで、改めて会員とのつながりを持つとの結論に至りました。

とは言うものの、収入を会員の会費等では無く生徒数が減りつつある在校生に頼っている一方で、卒業生はどんどん増え、支出はかさんでいくという状況を考えると、今のやり方では先細りになることは明らかであるため、校内幹事である先生の提案により、他校でも実績のある同窓会運営の専門業者に相談しました。

もちろん、経費節減が目的なので、その目的の実現が大前提ですが、担当者からの説明、他校の状況確認により、次の内容を業者に委託する考えです。

- ①会員データの管理(新規登録・住所変更の連絡にとまなう修正)
- ②会員データに基づく卒業生名簿の発行・販売・広告受付
- ③会報の発行・発送及び送付にあわせた協力金振込用紙の同封

の3点です。

名簿の発行については、個人情報保護の考え方が一般的になっているなかで作成することに意味があるかどうか、またはデータ管理を含め、個人情報漏洩の恐れが無いかどうか、当然気になるころではありましたが、数多い他校での実績のなかで事故が無いこと、名簿の発行が組織の要であると同時に収入源でもある(もちろん卒業生に限定した販売であり、掲載の可否については本人に事前確認します。)ことから、上記3点をセットにした委託について役員会で決定したところです。

なお、このことについては、今年6月27日(土曜日)に予定している総会(松江市殿町のサンラポーむらくも)にて改めて説明いたしますので、ひとりでも多くの方に参加いただけるよう、ここでご案内いたします。

また、最後に、会報に加え、会員同士のつながりを強めるため、不定期で開催していた総会を毎年開催することとし、各期の幹事を中心に古い期から順番で開催していくことといたしました。

30周年を迎えたものの、まだまだ若い卒業生にあっては高校の同窓会などさほど関心が無い方も多いとは思いますが、何かの際のよりどころとして、組織の存続は必要と考えていますので、今後も協力いただきますようお願いいたします。



校長
飯塚 勝

ご挨拶

東雲会会員の皆さま、こんにちは。本年度着任した校長の飯塚勝と申します。東高勤務は初めてですが、長く西川津の教職員住宅に住んでいましたし、三人の娘がみんな東高を卒業しましたので、大変お世話になった学校であり親しみも感じています。赴任後の感想も端的に「温かみのある、いい学校」だと感じています。微力ながら皆さんの母校の発展のために尽くしたいと思っていますので、どうかよろしくお願いたします。

ご承知のとおり、本校は平成25年10月に創立30周年記念式典を開催しました。その際には、東雲会からたくさんのご支援をいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

昭和58年に第1期生を迎え入れ、昨年3月卒業の29期生まで、卒業生総数は8,717名と、着実にその歩を進めてきました。この間、本校創立の趣旨に沿うべく「師弟同行」のモットーのもと、進路、部活動など多方面に亘り大きな成果を挙げてきたこれまでの歴史は、後に続く我々に大きな誇りと自信を与えてくれます。「而立」の節目を迎えた今、今後とも東高らしさを求めて前に進んでいきたいと思っています。

さて、時代と本校の現状に鑑み、今年度の重点目標を「3つの力を伸ばします」として教育活動を進

めています。

1. 人とつながって生きる力を向上させる
2. 自己の未来を切り拓いていく力を向上させる
3. 地域社会の未来と関わる力を育成する

この3つの力を伸ばすべく、「松江東高版キャリア教育」や「考える授業」「明るい話題を与える部活動」等を推進しつつあります。来年度2年生からは、これまでのスキー研修に代え東京研修を始めます。校区地域の少子化の影響は避けられませんが、これまでの良さの維持の上に立って、東高らしいチャレンジをと考えています。

昨年末に東京・四谷で開催された「東雲会関東支部2014年度総会」に出席しました。関東一円からの20数名の参会者の皆さんと本当に楽しい歓談の時間を過ごすことができ、東雲会が卒業生をつなぐネットワークとして大きな機能を果たしていることが実感できました。同窓会の意義の一つはネットワークづくりと考えます。今後も、卒業生をつなぐネットワークの「根っこ」としての役割をしっかりと果たしていきたいと思ひます。

昨年10月、本校の様子を少しでも皆さんにお知らせすべく、学校便り「EAST NEWS」を発行しHPにアップしています。HPでは随時のニュースに加え、本校の「ガイドブック」なども見ていただけます。気軽に、本校HPにお立ち寄りいただければ幸いです。会員皆さまのご活躍を願って、ご挨拶とします。

30周年記念整備事業について(ご報告とお礼)

創立30周年記念教育環境整備事業の内容についてご紹介いたします。

■屋外運動場の照明増設

これまでは八基の照明で活動しておりましたが、この度、新たに十二基の照明を設置し、合計二十基となりました。これにより練習内容も今まで以上に充実したものになり、各部活動の好成績につながるものと期待しております。



屋外照明

■視聴覚機器の整備

これまでの視聴覚室のプロジェクターは旧型でしたので、この度、新型のプロジェクターを整備いたしました。また、ブルーレイレコーダー、スピーカー、プラズマディスプレイ等の周辺機器も合わせて整備いたしました。これらの機器は、普段の授業はもちろん、総合学習や部活動のミーティングなど、多くの場面で使用されることが期待されています。

記念整備事業の実施にあたりましては、卒業生の皆様方のご支援により、大変よい事業を行うことができました。心よりお礼申し上げますとともに、今後とも変わらず本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



プロジェクター



卒業生近況報告



1期 石見で働き、生活して思うこと

大畑 光延

高校を卒業してから、そろそろ30年が経とうとしています。「東高の1期生です。」と言うと、私の顔を見ながら、「最近できた学校だと思っちゃったに、だいぶん昔の話だったんだねえ」といった反応が返ってきます。そんなに年をとったかなと少しムツとしますが、事実なのでしょうがない。東高は、私と一緒に年を取って歴史を刻んでいるような、そんな特別な存在です。こんな感覚を持つのは1期生だけでしょうか。

さて、私は島根県の職員として働き始めてからおよそ4半世紀になります。その大半は県東部の機関で勤務していましたが、3年前から初めて県西部で働く機会を得ました。

職場は公共職業訓練施設。ここでは、様々な事情で失業した人たちが再就職を目的に訓練に励んでいます。ニート・フリーターや、結婚、出産、高齢などを理由に職場にしばらく離職された方が多いのですが、中には、老親を養うために一家の大黒柱として働いていた障がい者や、幼い障がい児を育てるシングルマザーなど解決が難しい課題を

抱える方々もいらっしゃいます。少しでも彼らの支えになろうとスタッフとともに奮闘し、涙あり笑いありのドラマティックな日々です。

そして現場では予想だにしないトラブルがかなりの頻度で起きます。しかも、いつの間にか反復し連鎖する。でも、こんな時に頼りになるのは、教科書や解説書に書かれた知識だけではなく、経験から得られた知恵やノウハウ。そのことをベテランの先輩方の働く姿を見ていつも思い知らされます。

石見で働き、生活しているとあることに気づきます。人口も産業も集積が低い、言わば“遅れた地域”ですが、ここで起きている問題は10年後の松江でも起こりうることでしょ。これから社会はますます高齢化、縮小化に向かっていくでしょう。ITやナノテクだけが最先端ではなく、過疎地の課題解決も然り。気づいてください。若い人達には、島根県内の至る所に自己成長の場が用意されているのです。

2期 ご縁に感謝

石川 章弘

早いもので、卒業して28年の月日が流れようとしています。当時を思い返してみると流行語は『朝シャン』、明石家さんまさん主演のドラマ『男女7人夏物語』が話題を呼び、その主題歌に合わせ踊った体育祭、学びとともに熱中した部活動、そして「たっとれい」と立たされ、ビクビクしながら受けた〇〇の授業のことなど青春時代の良き思い出が、昨日のこのように甦ります。

私事ではございますが、地元勤めさせて頂き20年が経過し、時の流れに身をまかせ、今では、若き瞳は老眼に、体型も大きく変化しようとしているところです。

そんな中、何年経っても変わらないのが、同級生や先輩・後輩との関係です。今でも当時と変わらぬ気持ちで付き合い、飲み会では、昔話で盛り上がっています。また、公私ともに困った時、つまづいた時などは、物心両面から支え

てもらっています。現代では、人間関係の希薄化が問題になっていますが、東高で育まれたかけがえのない絆を一生保ち続けていきたいと思っています。これも、東高で共に学び・遊んだ「ご縁」のおかげであり、本当に感謝しているところです。

さらに、近年では、職場や地域でも、東高出身者と一緒に仕事や活動をすることが多くなってきました。年の差により、話題についていけないこともあります。とても嬉しく、新たな出会いに感謝するとともに、改めて、創立30余年の歴史をしみじみ感じます。最後に、本年6月には、東雲会総会が開催される予定です。皆さん是非ご参加いただき、昔話に花を咲かせ、輩（ともがら）と出会えたご縁をもっと大きな圓（えん）に広げてみませんか。

11期 我思う you 縁 need 我あり

上 麻衣

高校生だったのは、かれこれ20年前になる。あの頃毎日に精一杯で、将来の自分のことなんてこれっぽっちも考えていなかった。今思い返してみれば、当時教わった先生方は今の自分に近い年代だったのではないかな。随分大人だ

なぁと思っていた歳になったことを改めて感じる。

小規模な小・中学校で、のほほんと過ごし、初めて多くの同級生ができた高校時代。あまりの人の多さに気後れして、授業中はひっそりと、放課後になればそそくさと松江

刑務所前にある射場へと向かった。

高校入学の前年に開催されたバルセロナオリンピック。聖火の点火がアーチェリーで行われた。その影響だと思いが、当時アーチェリー部への入部者は多かった。その年に弓道部が設立され、そちらに移籍した同級生もたくさんいた。学校の敷地内にアーチェリーと弓道の射場ができるなんて、あの頃誰も考えていなかっただろうな。

こんなマイナーキャラの私が各期幹事になっていて「この人、誰？」と思っている同級生も多いことだろう。しかし、人間って変わるものだ。社会に出て15年。高校時

代は一言も会話したことのない同級生と出会うことも多い。「11期だよな？たぶん今まで話をしたことなかったけど、よろしく。」なんて図々しく話しかける。それは、先輩や後輩に対しても同じで、「どちらの高校ですか？」「東高です。」という流れになったとたん、一気に親近感がわく。同じ釜の飯を食った仲間に似た何かが発動するのだろう。その図々しさで失敗することもあるのだが…。ご迷惑をおかけした皆様、ごめんなさい。

人との出会いにご縁を感じる今日この頃。これからも、いただいたご縁を大切にしていきたいと思っている。

21期 『しののめ』発行に寄せて

多賀 秀哉

東雲会員の皆様初めまして。本年度より東雲会の校内事務局を橋本先生より引き継ぎました多賀（21期）です。不慣れなところも多く皆様にご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、よろしくお祈りします。合わせまして今後とも東雲会の益々の発展に皆様のご理解とご協力をよろしくお祈りします。

さて、私は昨年度より母校の東高に勤務しております。私が入学した年から8クラス編制が7クラス編制になりまして、定数減が始まりましたが、現在は1学年6クラスとなっており、さらに全校生徒数が減っております。母校勤務で一番寂しいなと感じたのは、東雲祭体育の部が一色減の赤・青・黄の三色で校庭が少し広く見えたことです。東雲祭にかける生徒たちの熱意は変わらず高校生の熱いパワーを感じましたが、やはり人数自体が減っていると少し物足りない印象を受けました。

一方で私が在学していた頃とは印象の違う良い面とし

て、生徒一人一人がすごく素直で真面目になっているということがあげられます。21期生が、人の言うことを聞かず、不真面目だったという印象をことさら持っているわけではありませんが、それにしても現在在学している生徒と日々活動していると「いい子たちだなあ」と思ってしまいます。

私が感じている変化はわずかここ10年程度のことでありますが、これまでの30年、そしてこれから先もまた東高はそして東高生は様々な面で時代の流れとともに変化していくと思います。しかし、どの時期に東高を卒業し、東雲会員となっても東高を母校として慕う気持ちは変わらないのではないかと思います。この共通の思いをかたちに繋げる仕事が母校に勤務し校内事務局を担当させて頂いた私の役目ではないかと考えております。今後も世代を越えた東雲会員の架け橋となれるよう微力ながら尽力していきます。

22期 高校生活を経て感じること

坂野 緑

私は22期の卒業生です。卒業後は地元の専門学校に通い、現在は地元の病院で理学療法士として働かせて頂いています。

今回会報を発行するという事で執筆をする機会を頂きましたが、文章を書くことが苦手なため乱筆お許しください。

私の高校生活は基本的に楽しいことばかりでいつも笑っていた思い出があります。クラスの中でも部活でも楽しい思い出を沢山させて頂きました。当時は大きな悩みや辛かったことも今思えばとても可愛らしい事のように思います。成績は…とても良い方ではありませんでしたが、早い段階で将来の夢が決まっていたので、将来のための学校へ進み、苦手な勉強を長らくせず、最短で働けたのは良い選択をしたなと思っています。

高校生活では沢山のことを得てきました。今でも思い出したら笑えたり、悲しめたり、感動できるような思い出など…。でも、1番は人との出会いだと思っています。友人、

同級生、部活のメンバー、先輩、後輩、先生方との出会いは高校当時はもちろん、今でも繋がっている大切な存在です。自分でも特に私は人との出会いに恵まれていると思っています。今でも高校の同級生とは（幹事様々ですが）年に数回はいろんなメンバーと集まります。昨年末には小規模で同学年の同窓会も開かれました。高校時代は同じ空間で過ごしてきたメンバーが大人になり、それぞれの土地でいろんな仕事や人と出会って頑張っている話を聞いたり、そう思えば高校生の時のような気持ちで話ができ、笑って楽しくお酒が飲めてとても良い時間になりました。

高校時代に得た出会いを今後も大切に、また何かあれば集まってパワーをもらいたいと思います。そして今でも私と変わらず仲良くしてくれる皆様に感謝したいと思います。

末筆ながら、東高卒業生皆様の益々のご健勝と、ご多幸をお祈り申し上げます。

学校近況

学校の近況を知らせるために、今年度より「EAST NEWS」を発行して、生徒、保護者および近隣の学校へ配布しています。

全てをご紹介できれば良いのですが、紙面の都合上一部をご紹介します。学校HPへもアップしてありますので、詳細はぜひそちらでご確認下さい。

EAST NEWS (創刊号)



EAST NEWS

学校だより
創刊号
平成26年10月

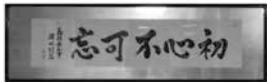
島根県立松江東高等学校

「初心忘るべからず」

秋の田の豊かまりを感じさせる稲穂を目にすると、自然と浮かんでくる句があります。

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」

広く知られている言葉ですが、作者不詳のようです。実業を営んだものと言えませんが、人のあり様にも響えられ、成長を遂げるほど謙虚になるべきと示唆しているように私は受け止めており、折伏に触れ自戒の言葉として噛みしめています。



さて、本校の正面玄関を入ると、「初心不可忘」の力強い文字が記された額が目にとまります。元島根県知事の恒松潤治氏の揮毫によるもので、本校創設の時期に掲げられたものです。「初心忘るべからず」と言えば、新たな環境に身を置き、新たに物事を始める人に対してよく語られる言葉で、「ものごとを始めた際の、頑張ろうとする決意を忘れてはならない」という意味で使われることが多いと思います。本校教育を支援する当時の県知事として、松江高校創設の感激を忘れず、学校「創造」に邁進せよという思いを込めて揮毫されたものと思います。



校長 飯塚 勝

ところでこの言葉は、室町時代に能楽を大成した世阿弥の残したものと云われ、有名な能楽論書「風姿花伝」に続く、「花鏡」という著書に出てくる言葉です。ただ、世阿弥が「花鏡」で説明している意味は、前述の意味とはかなり異なります。世阿弥が言う「初心」とは、「初心者」という語の「初心」にあたり、物事を始めたばかりの未熟な状態を指しています。つまり、世阿弥が用いた「初心忘るべからず」とは、「物事を始めたばかりの未熟な時の思いや、その後の成長に向けての様々な努力を忘れてはならない」という意味なのです。



私は、この「未熟である」という自覚こそ、成熟に向けての努力を促す原点であると思っています。本校は、昨年度創立30周年式典を挙行了しました。開校時の、「未熟さ」を自覚する思いと学校「創造」への思いが、ここまでの発展を生み出したのだと思います。そして、30周年を終えた今、まだまだ若い「未熟な」学校であるという謙虚な自覚と、新たな「創造」を目指す「初心・初志」を持って、より良い学校づくりに向け努力を重ねなければならないと思っています。生徒の皆さん、皆さんはまだ未熟です。だが、今現在の自分が「未熟である」ということを恥じる必要はありません。逆に今の自分に甘んじることなく、「実るほど頭を垂れ」、「未熟である」という自覚を持つことこそが、更なる学びへの向上心の原動力になると考えてほしいと思います。

この度、原点回帰の思いも込め、本校の活動を広く共有してもらえよう、学校だよりを発刊することとしました。ご覧いただければ幸いです。

発表 No smile No festa

～笑いなくして東雲なし～



東雲雲



東雲雲



12月 1日 創立30周年記念式典
12月 1日 創立30周年記念式典
12月 1日 創立30周年記念式典

EAST NEWS 第2号



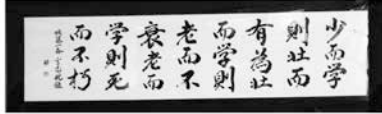
EAST NEWS

学校だより
第2号
平成26年12月

島根県立松江東高等学校

「学び続ける力」

校長 飯塚 勝



本校職員玄関に入って右手の壁面に、江戸時代の儒学者「佐藤二斎」(1772-1859)の言葉が掲げられています。書き下し文で示すと、「少くして学べば、則ち死して去るべし。老いて学ばば、則ち老いて去るべし。老いて学ばば、則ち死して朽ちず。」となります。<出典：『言志晩録』>

「若いときに学んでおけば、働き盛りに一仕事を成し、働き盛りに学んでおけば、年を取っても盛んであり、年老いて学べば、死後に名を残すことができる」というのが意味で、平成13年5月就任間もない小泉純一郎元首相が、衆議院での「教育関連法案」審議中に取り上げたことで知名度が上がったと言われます。要は、一生を通じて学ぶことが大切であるということです。

本校の額は、平成20年2月山田忠男元校長が、本校の校訓「師弟同行」が不滅である事に願をかけて書道講師の辻原美和子先生に書いていただいたものです。生徒も教師も学び続ける学校でありたいという思いを表していますが、昨年10月の本校創立30周年記念式典における池上彰氏の演題が「学び続けること」であったのは奇しき縁であったでしょうか。

私も赴任早々の1学期始業式で、次のように話しました。
～「学力」とは何か、という定義の答えは難しいけれど、一つの答えは「学び続ける力」。現代社会を表すのに「生涯学習社会」「知識基盤社会」という言い方もある。今、生涯に亘って学び続けることの大切さが強調されている。新しい年度の始まりにあたり、「学び続けること」の大切さを意識して過ごして欲しい。将来に亘って学び続けることのできる基盤となる力を、高校で身につけて欲しい。～

本年7月に発表された、「しまね教育ビジョン21」では「学力」の意味を、「学ぶ力」と「学んだ力」に定義づけていますが、それを踏まえて「学び続ける力」が必要な時代であると思っています。

池上氏は、『学び続ける力』(H25.1講談社現代新書)で、「これまでの常識が通じない、変化するような時代においては、教養こそが次の解を出すための実践的な道具になり得る」のであり、「自分の存在が社会の中でどんな意味を持つのか、客観視できる力を身に付けること」ができることを、「学び続けること」の意味と述べています。「学び続ける力」という言葉も聞きますが、平成27年に向けて、変化し続ける社会の中でより豊かな人生を送っていくために、「学び続けること」のできる意欲と力を身につけることができるような教育を展開していきたいと思っています。



英語力パワーアップ中!!

英語力アップ中!!
英語力アップ中!!
英語力アップ中!!

英語力アップ中!!

英語力アップ中!!
英語力アップ中!!
英語力アップ中!!

英語力アップ中!!

英語力アップ中!!
英語力アップ中!!
英語力アップ中!!

英語力アップ中!!

英語力アップ中!!
英語力アップ中!!
英語力アップ中!!

英語力アップ中!!

英語力アップ中!!
英語力アップ中!!
英語力アップ中!!

英語力アップ中!!

英語力アップ中!!
英語力アップ中!!
英語力アップ中!!

英語力アップ中!!

英語力アップ中!!
英語力アップ中!!
英語力アップ中!!

英語力アップ中!!

英語力アップ中!!
英語力アップ中!!
英語力アップ中!!

英語力アップ中!!

英語力アップ中!!
英語力アップ中!!
英語力アップ中!!

英語力アップ中!!

英語力アップ中!!
英語力アップ中!!
英語力アップ中!!

英語力アップ中!!

英語力アップ中!!
英語力アップ中!!
英語力アップ中!!

英語力アップ中!!

英語力アップ中!!
英語力アップ中!!
英語力アップ中!!

英語力アップ中!!

英語力アップ中!!
英語力アップ中!!
英語力アップ中!!

英語力アップ中!!

英語力アップ中!!
英語力アップ中!!
英語力アップ中!!

英語力アップ中!!

英語力アップ中!!
英語力アップ中!!
英語力アップ中!!

ボート部

Table with 2 columns: Event Name and Result. Includes national and regional boat regattas for various categories like double scull and single scull.

野球部

Table with 2 columns: Event Name and Result. Includes regional and national baseball tournaments.

弓道部

Table with 2 columns: Event Name and Result. Includes national and regional archery tournaments.

ハンドボール部

Table with 2 columns: Event Name and Result. Includes national and regional handball tournaments.

3位決定戦 松江東 22-8 松江南 ※第3位

吹奏楽部

Table with 2 columns: Event Name and Result. Includes regional and national music festivals.

自然科学部

Table with 2 columns: Event Name and Result. Includes science fairs and exhibitions.

書道部

Table with 2 columns: Event Name and Result. Includes calligraphy competitions.

美術部

Table with 2 columns: Event Name and Result. Includes art exhibitions and contests.

弦楽部

6月15日 島根県立松江東高等学校弦楽部 第九回定期演奏会(於:プラパホール)

文化創造部

Table with 2 columns: Event Name and Result. Includes video drama, radio, and other creative projects.

JRC部

あしなが育英募金活動 島根県高等学校青少年赤十字メンバー...

EES部

イースターエッグ作り カナダの高校生との文通...

茶道同好会

東雲祭(文化の部)でお茶席を開催 収益金を平成26年広島県大震災善義援金として...

ボート部にご寄付をいただきました皆様へ(お礼)

平成26年8月 HP掲載

時下、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。昨年度、1期生の飯塚様よりボート部への寄付を呼びかけていただいたところ、多くの方々からご寄付を賜り、誠にありがとうございました。総額で236,111円をご寄付いただきました。使途につきましては艇及びオールの修理費の一部にあてさせていただきます。さて、皆様のご支援のおかげで先日行われました山梨インターハイでは、女子ダブルスカルが5位入賞という快挙を達成することができました。3月に行われました全国選抜大会では男子クォドルプルが10位、女子ダブルスカルが9位という結果を収め、6月に行われました中国大会では、男子クォドルプルが優勝、女子ダブルスカルが2位という結果を収めることができました。その他のクルーにつきましても、全員が自分の持っている力を精一杯発揮し、最後

まで戦い抜くことができました。今後も東高ボート部が躍進できるように努力を重ねたいと思っております。また、生徒がボートを通じて人として成長し、ボート部であることに誇りを持つことができるように、指導していきたいと思っております。お近くにお越しの際は、是非艇庫にも顔を出していただき、激励していただけますと喜びます。今後ともお力添えをいただきたく、お願い申し上げます。10月に開催されます長崎国体へも本校より男子2名、女子2名が出演します。応援よろしく申し上げます。なお、本来であれば、ご寄付をいただいた皆様個々にお礼状を差し上げるところですが、今回は住所のわからない方が多く、ホームページでのご報告を以って代えさせていただきます。ご了承ください。島根県立松江東高等学校ボート部顧問 14期ボート部主将 佐藤 秀人

事務局 だより

同窓会開催補助について

平成7年度より、同窓会開催時の補助金が次のような基準で支出されます。

クラスごとの場合 … 1万円
各期ごとの場合 … 10万円

条 件 (1)半数以上の参加があること
(2)同窓会報もしくは学校HPに報告書を書くこと

開催の案内の送信など、お手伝いできる部分もあります。また、補助金については弾力的に対応させていただきますので、同窓会を開催される際にはぜひお気軽にご相談ください。

各期幹事について

卒業期毎に1名ずつ「各期幹事」を任命させていただきました。今後は、総会にともなって行われる懇親会に期毎の同窓会を兼ねていくという方向性を打ち出しました。各期幹事の方を中心に情報発信や準備を進めていきたいと考えています。

東雲会の活動のために皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

役 職	期	氏 名	役 職	期	氏 名
会 長	1	津森 仁	13期 幹事	13	永田 聡
副 会 長	1	佐目 元昭	14期 幹事	14	曾田 大輔
副 会 長	1	井上百合江	15期 幹事	15	田村 英之
副 会 長	2	後藤康太郎	16期 幹事	16	長澤 理夫
副 会 長	3	安田 浩昭	17期 幹事	17	飯塚 武史
副 会 長	5	古藤 啓一	18期 幹事	18	川上 忠宏
副 会 長	校長	飯塚 勝	19期 幹事	19	願永 沙織
事 務 局 長	教頭	坂根 昌宏	20期 幹事	20	河本 祐樹
監 事	1	古川貴美子	21期 幹事	21	岩水美稚子
監 事	2	物部 伸吾	22期 幹事	22	坂野 緑
関東支部長	1	上田 恵子	23期 幹事	23	松本 直幸
関東事務局長	1	熊川 敦子	24期 幹事	24	安木 理子
1 期 幹 事	1	大畑 光延	25期 幹事	25	日之蔵悠也
2 期 幹 事	2	石川 章弘	26期 幹事	26	吉田 麻里
3 期 幹 事	3	藤原 典英	27期 幹事	27	井上ひかる
4 期 幹 事	4	泉 健二	28期 幹事	28	金津 裕
5 期 幹 事	5	三島由美子	29期 幹事	29	小立 恩
6 期 幹 事	6	狩野 勝	校 内 幹 事	4	北野 美和
7 期 幹 事	7	竹谷 淳	校 内 幹 事	9	福田 貴子
8 期 幹 事	8	青山 智	校 内 幹 事	9	山崎 慎司
9 期 幹 事	9	梅木 雄作	校 内 幹 事	13	安部まどか
10期 幹事	10	田中 信雄	校 内 幹 事	14	佐藤 秀人
11期 幹事	11	上 麻衣	校 内 幹 事	15	橋本 恵一
12期 幹事	12	松本 裕樹	校 内 幹 事	21	多賀 秀哉

編集後記

久々の会報発行となつてしまい、事務局としての力量不足を感じているところです。今回の会報より、株式会社サラトさんの協力を得て、事務局の負担を随分と軽減していただきました。卒業生名簿の整理も今後進めて行くこととなります。個人情報保護などクリアすべき部分はありますが、個別の意思確認も丁寧に進めていただけることなど事務局、役員会で入念に議論を重ねて来ました。会報の定期的な発行や財源への負担軽減の面からこのような形で今後も継続していきたいと考えております。継続的な

事務局メールアドレス ・HPの紹介

東雲会事務局機能の充実と会員との連絡、調整が取りやすくなるように、事務局メールアドレスを作成しました。また、学校HP内に「東雲会」のページも作成し、同窓会の案内や開催報告などをアップしています。先日開催されました関東支部総会の報告もアップしてありますのでぜひご覧ください。



HP (学校HP内)

<http://www.matsuehigashi.ed.jp/5.html>



メールアドレス

shinonomekaizimukyoku@gmail.com

表紙の題字

「しのめ」の題字は、本校19期卒業生の
加藤 愛さんの作品です。

お礼とお詫び

お忙しい中、会報の原稿を送っていただいた方には、はなはだ失礼ではございますが、書中にてお礼申し上げます。来年度の会報発行にあたってもどなたかに執筆依頼をさせていただきます。その際は快くお引き受けいただきますようお願いいたします。

平成27年度総会について

次年度の総会は下記の日程で計画しております。総会後の懇親会の幹事期は1期および2期です。1期と2期の皆さんの同窓会を兼ねてと考えておりますので、たくさんのご出席を心よりお待ちしております。

期日 **平成27年6月27日 (土)**

会場 サンラポーむらくも
松江市殿町369番地
TEL (0852) 21-2670(代)

日程 13:00 総会
14:00 懇親会

会費 30期～27期 2,000円
26期～20期 4,000円
19期～1期 5,000円

※ 幹事期は1期および2期

問い合わせ先 東雲会事務局 0852-27-3700

会報発行の為、趣旨にご理解ご賛同いただいて協賛金をお願い出来れば幸いです。

創立30周年を終え、学校を取り巻く環境もますます変化が大きくなって来ております。松江東高校で共に学んだ「繋がり」が今後より一層強固なものとなり、東雲会の活動が活発になっていくよう、事務局も頑張つて参ります。変わらずよろしく願いいたします。